



夏休みに大冒険



夏休み期間中の小学生や中学生を対象に2つの社会教育事業が行われました。1つは小中学生が参加する「ぼくたちわたしたち体験隊（通称ぼくわた）」と、もう一つは小学生対象の「チャレンジワールド」。参加した子どもたちは、普段はできないことを体験し、ひと回り大きく成長することができました。

ぼくたちわたしたち体験隊

8月4日～6日にかけて「ぼくたちわたしたち体験隊」が2泊3日の日程で行われ、「旭川市 21 世紀の森」に宿泊しました。22名の小中学生が参加し、それぞれ5つの班に分かれて行動。

1日目はキャンプ中の朝食メニューを自分たちで考え、スーパーへ食材の買い出しへ行き、夕食はみんなでカレーを作りました。2日目は自分たちで考えた朝食を作り、お昼からは旭山動物園を見学。ただ見て回るだけでなく、動物に関するクイズなども行いました。夕方は全員でバーベキューをし、その後はみんなで花火。3日目も自分たちで考えた朝食メニューを作り、妹背牛に戻った後は3日間の感想を述べました。



2日分の朝食メニューを考えます



スーパーに食材の買い出し



早朝ラジオ体操



朝食づくりの様子



旭山動物園を見学



2日目の夕飯はBBQ

夜は全員で花火



チャレンジワールド

8月11日に「チャレンジワールド」が開催。

小学生14名が参加し、「パンのおとも」をテーマに富良野市でバター作りやジャム作りを体験しました。バター作りは「富良野チーズ工房」で行われ、子どもたちは生クリームが入った瓶を必死に振り、木の板とヘラでバターから水分を押し出し完成です。ジャム作りは「ふらのジャム園」でいちごのジャムを作りました。ジャムを焦がさないようかき混ぜながら煮詰めて完成。子どもたちは「自分たちが作ったバターやジャムを家で食べるのが楽しみ」と大喜びでした。



ジャム園の隣にある「アンパンマンショップ」も見学しました



音がしなくなるまで必死に振ります



バターの水分を押し出す



完成したジャムを丁寧に瓶に詰めます

宮坂建設工業株式会社へ感謝状



7月16日、宮坂建設工業株式会社に対する感謝状の贈呈式が行われ、金田幸一執行役員副社長が感謝状を受け取りました。地域社会貢献活動の一環として本町開基100年記念手形広場の草刈りや清掃作業などを令和3年6月21日から4日間にわたって行い、公共施設の景観美化に多大な貢献をされました。

第52回北海道中学校陸上競技大会結果報告



8月17日、先月行われた「第52北海道中学校陸上競技大会」に出場した妹背牛中学校の男子生徒5名が教育長のもとを訪れ、結果報告を行いました。4×100mリレーは予選敗退となってしまいましたが、生徒たちは「高いレベルの中、競技を行えてよかった」とコメント。また、200m走と走り幅跳びにも出場した大崎仁さん（写真右から3番目）は、いずれの競技でも決勝まで進み、走り幅跳びでは4位と素晴らしい結果を残しました。